

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) タイガースポリマー株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 560-0082 大阪府豊中市新千里東町1丁目4番1号
----	------------------------------	----	---

本票作成	部署名：岡山工場 設備管理課
------	----------------

主たる業種	分類コード	19	業種名：ゴム製品製造業
-------	-------	----	-------------

事業の概要	ゴムシート・ゴムマット・ウレタンゴム及び関連製品の企画開発から製造引き渡し
-------	---------------------------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山工場	岡山県備前市吉永町福満 868番地2

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	6,006 t CO ₂	6,508 t CO ₂	5,705 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25)年度排出量
	①	岡山工場	6,508 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(25) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	10.5 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産重量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(25) 年度	目標年度
		1,108 kg CO ₂ /(t)	991 kgCO ₂ /(t)	1,053 kgCO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

- ・各部門のエネルギー使用状況を把握しながら、省エネ対策に取り組んだ。計画に盛り込んだ省エネ機器の更新では、概ね順調に温室効果ガス排出量の削減が進んでいるものと考えている。
- ・直接の省エネ対策に加え、Tigers・New・Production (略称TNP) と称し、生産方法と製造条件の見直しならびに改善を行い、更なる展開として収益性改善活動(略称IMPACT120)を開始し、ロス・不良の削減は勿論の事、生産性の向上による総合的なエネルギー原単位の継続的改善にも取り組んでいる。
- ・今後とも、計画した措置を確実に実施するとともに、追加の削減対策を検討する。

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を確認している。
- ・ISO14001に基づき、工場長をトップとした環境管理体制のもと、環境改善を推進した。
- ・職制を通じた省エネの周知により、全従業員がその重要度を理解し、不要時の運転停止等に取り組んだ。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(平成25年度実施分) 岡山工場	(平成25年度実施分) <ul style="list-style-type: none"> ・空調省エネシステム導入 (CO2削減量17ton/年) ・天井照明レイアウト変更と不要安定器の撤去 (CO2削減量39ton/年) ・蒸気プレス断熱強化 (CO2削減量28ton/年) ・チーリングユニットの高効率化更新 (CO2削減量135ton/年) ・連続加硫機油圧ユニット更新 (CO2削減量6ton/年) ・空調ダクト連結による台数削減 (CO2削減量11ton/年) ・連続加硫機成形温度変更による蒸気消費量削減 (CO2削減量3ton/年)
(今後の実施予定分) 岡山工場	(今後の実施予定分) <ul style="list-style-type: none"> ・チーリングユニットの高効率化更新 (CO2削減量47ton/年) ・高効率変圧器への更新 (CO2削減量11ton/年) ・連続加硫機油圧ユニット更新 (CO2削減量5ton/年) ・圧延工程の大型DCモーターのインバータ駆動化 (CO2削減量163ton/年) ・練りロール機インバータ化 (CO2削減量166ton/年) ・エアーコンプレッサー更新 (CO2削減量50ton/年) 慢性的な工程内不具合の撲滅に向けた対策を進める事で、総合的なエネルギー効率の向上に繋げる

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・月次の総合朝昼礼において、冷暖房時の注意事項とアイドリングストップをPRするとともに、従業員駐車場・入出荷トラックヤードでは看板でも周知している。
- ・空調温度をひかえるため、クールビス、ウォームビス運動啓蒙。(来訪者にもPR)
- ・備前市からの要請で、夏期の社用車の運転自粛に取り組んだ。
- ・社用車の1台についてハイブリッド車へ更新した。
- ・製造条件の見直しや慢性不具合の削減によるエネルギー使用効率の向上を順次推進中。